

立命館大学理工学部物理学科
夏期集中講義 2002年9月18日～20日
アンケート集計

- 私は、大学に入ってこのような内容の講義を受けたことははじめてでした。この講義では、これから生きていく上でとても大切な事ばかりを学んだと思います。
- どんなテーマからも高次化することによって無限の多様性を持ち得て、そこから考えもしなかった領域が生まれてくるのであると思った。立派な仕事はテーマではなく、そのテーマと血みどろの格闘をすることによって生まれるのだと考えられるようになったのは大きな収穫だった。先生の本を読んでみようと思う。
- 先生は、失敗した授業もおおかたと言っておられたのですが、そんなことはありませんでしたよ。先生があれだけおっしゃらなかったら、ほとんど知り得ないことでした。ありがとうございます。本も、機会があれば読ませてください。
- 今日の講義は大学で学んだというより、自分についての考え方を知る講演会のように感じました。普段生活していて、意識と無意識を区別することはありませんでした。しかし、意識があるかないかという違いはとて大きくて重大なことであることに気づきました。がん細胞がまわりの細胞をがん細胞に変えていくという構造と、人の心がある無意識へと変えられていく構造が似ているというのには、驚いたと同時に納得しました。
- 対象から超対象へという視野を広げるのはとても重要なことだと思います。先生の授業を聴いて自信を持つことができました。ありがとうございます。
- 有限のものから無限のものを生み出す構成的認識についてですが、これを行うのはすごく難しいです。僕たちが大学で学んでいるのはむしろ逆で、無限のものを有限のもので理解することだとおもいます。逆になるだけですが、その難度は極めて違います。
- 生物と無生物の違い、僕は単純に生物なのか生物じゃないのかという点だと思っていましたが、生物は自ら境界を形成して閉じた構造を作れる、内と外を自ら作ることができる、と先生はおっしゃいました。それを聴いてなんとなくですが、生物と無生物の違いを自分の頭の中でイメージできるようになりました。
- 僕のこの授業全体を通して感じたことは、最初の授業の日は先生は、すこし緊張しておられたというか何かまだ自分を抑えている感じでしたが、日に日にヒートアップしてきてとてもおもしろかったです。今日で終わるのはちょ

っと残念です。最後に、ちょっと聞こえてきたのですが、先生がTAの方に「成功だったかな？」とたずねていたのですが、答えは「大成功です！！」と僕個人は思っています。

- この4日間で、自分自身を見つめ直すことがたくさんありました。よくわからないところは、いろいろあったけど、何か心に伝わるものを感じました。この気持ちをずっと忘れずに、勉強に励み、どんな困難にぶつかっても、それまでの努力と経験で高次化していきたいと思います。
- 今日の講義を聴いてとても勉強になりました。物事の階層構造から対象の本質を見極めるというのは、物理の範囲だけでなく、日常生活においても非常に役立つものだと思います。1週間という短い期間でしたが、とてもためになる講義だったと思います。
- 最初から最後まで、ずっとドキドキしながら聞いていました。先生から学んだことを、今後、自分の人生に生かしていきたいと思います。先生は僕を満足させてくれました。ありがとうございます。
- マクロの世界で起こる事象は、ミクロの世界、心の世界においても同じような事象が起こると言うことを知ったが、理解し納得するのに悪戦苦闘した。何故かを考えたとき、主観と客観の思考で差異があることに気づいた。心の世界においては主観に陥りやすく、ミクロの世界においては客観になりやすい。そして、マクロな世界では、集合的な主観的意識となっていて、そのことを自己認識していなかったからだと思う。
- 構造を構成していくことで、内と外が作られるという、生物としての進化について、今までにない視点で物事を見ることができきっかけを与えていただいた授業だった。
- 今回の講義は気合いが入っていて‘生きた講義’という感じだったので非常におもしろかった。
- こういう風に考えている人もいるんだというのがわかっただけでも、この講義をとってよかったと思います。まだまだいろいろな話を聴いてみたかったです。最終的に講義を受けて感じたことは、1つの講義で理系と文系両方の授業を受けたような感じがしました。
- 今日の話はわかりやすく納得できるところも多かった。分岐と統合を繰り返して螺旋状になっていくというのもイメージできたし、なるほどと思った。この講義を受けて、いろいろなことを考えたし、いろいろな発見もあった。この講義を受けてよかった。
- この4日間で、先生はシンボルのことについてよく話をしていたが、このテーマについては言いたいことが大体わかったし、構成的な高次化についても「ああ、そうだったのか」とも思った。でも、先生を見ていて一番思ったこ

とは、そのすばらしさを人に伝えることの難しさを学んだように思う。今回、先生の話聞いてとてもいい経験になったと思う。今後、人生のいろいろなところで、今回の話を思い出してより充実した人生を送ろうと思う。

- 対象内分析や対象間比較は、今後論文を書くにしろ研究をするにしろ、将来のためはかなり役立つと感じた。こういう講義はもっとはやく知りたかった。
- 先生の講義を聴いて非常に感動しました。自分の中でも何か思い当たることがあり、心の中に光がさすような気がしました。ありがとうございました。
- 先生の講義を受けて思ったことは、新しいことを得ただけけれど、それがまったく違う分野の知識ではなくて、知っていたことの中から知らないことが出てきたと言うことです。うまく言えるかどうかわかりませんが、すべて見えていると思っていた所にたくさん見落としがあたというか・・・、あるはずもないと 思っていたならまだしも、あるはずもないとも思っていなかったことが先生の講義を通して認識できたというか・・・うまく言えません。なんか頭の中に新しい、ぼんやりとした、何かが得られたように思いました。
- この授業をうけて、とてもプラスになったことは、物事をいろいろな角度から見るように心がけようと言う気持ちができるということでした。
- 今回の講義を通して思ったのは、既成の体系として確立された学問の範囲の外にあるような知識のおもしろさです。あまりにも興味をひきつけられました。
- 本日が最終日となりました。4日間の講義で私たちに「考えの高次化」というものを教えようとしてくださったのだと思います。正直に言って、その考えを習得することが、この4日間でできませんでしたが、高次化することを修得したいとおもいました。
- 昨日、おとといの授業を例として、構成的認識で分析したプロセスを見せつけられて、あれだけの分析ができる先生は、やはりすごいなと感じました。本当に楽しい授業でよかったです。
- 率直に感じたのは、先生はメンデルと同じかと思った（当時、メンデルの講義をきいたとしたら、こんな感じをうけるのかと思った）。先生の本にしても、講義にしても、研究者としての熱意みたいなものがすごく伝わってきて刺激的でした。
- 先生の講義で、これからの人生、生き方、考え方が変わるだろう。
- この4日間に先生が挙げられた具体例を通して、何とかして私も「構成的認識」の手法を身につけたいと思った。この4日間、本当に充実していました。ありがとうございます。
- 自分の知らないこと、思いもしないことをたくさん指摘していただき、ありがとうございました。